

とんがらし通信

思いのままに、

描きます！

No.238

～主な内容～

- ・施設長コラム ・職員コラム
- ・小学生クッキング ・表現展
- ・活動報告 ・研修
- ・Close-up! ほか

仙台つどいの家編集室
発行責任者 山口 収
発行日 2019年3月25日
〒983-0836 仙台市宮城野区幸町3丁目12-16
Tel 022(293)3751 Fax 022(293)3752
E-mail sendai@tsudoinoie.or.jp
ホームページ <http://www.tsudoinoie.or.jp>



『沖縄』・『福島』・『永田町』・・・の巻

前号で、普天間基地の辺野古移設に関する沖縄の住民投票の話をしました。原稿作成時点では、石垣市など5市が住民投票の実施自体を見送る意向を示していましたが、結局は『埋め立て賛成』『埋め立て反対』に加え『どちらでもない』という第3の選択肢を入れる格好で、全ての市町村で住民投票が実施されることになりました。この間、5市の議会に対しては投票実施に向けての働きかけが、全国の心ある人たちから『FAXアクション』という形で行われました。とにもかくにも、オール沖縄で住民の意思を問うことができたことはとても大きなことだと感じています。注目の投票結果は、投票率52.48%で辺野古の『埋め立て賛成』19.1%、『埋め立て反対』72.2%、『どちらでもない』8.8%というものでした。移設対象の普天間基地を抱える宜野湾市の住人にとっては非常に微妙な立場での投票になりましたが、それでも宜野湾市における反対票は7割に迫る得票となりました。これもまた画期的なことだと思います。こうして実に沖縄県の41市町村すべてで『反対』が『賛成』・『どちらでもない』を上回り、沖縄県民の民意は完全に示された格好となりました。しかし、その後政府は辺野古の埋め立て工事を早々に再開させる暴挙に出ます。挙げ句の果てには、岩屋防衛大臣による『住民投票の結果如何に関わらず、政府は工事継続をはじめから決めていた。安倍総理も承知している』という発言まで飛び出し、いかにも県民を馬鹿にした態度が続いています。国会前で辺野古移設反対の集会を行なっている参加者の一人が呟いた『沖縄県民の意思は十分に示された。あとは本土の我々が動く番じゃないか！』という言葉が心に沁みました。

今、宮城県でも県民投票条例が制定されるかどうかの瀬戸際を迎えています。市民団体が中心となって、『女川第2原子力発電所の再稼働の是非』を県民投票によって決するため、条例制定を求める直接請求のための署名活動を昨年10月2日から2か月間に亘って行ないました。結果、直接請求に必要な『県内有権者の2%』を大きく上回る、約11万1千筆（有権者の5.7%）の有効署名が集まり、市民団体はこの2月に村井知事に対して県民投票条例の制定を直接請求しました。しかし実はこの直接請求、かなりハードルが高いものです。福島第1原発の事故後、『原発再稼働』を巡る住民投票条例の制定を求めた直接請求は、これまで新潟県・静岡県・東京都など5つの自治体で提出されてきましたが、いずれも首長の強硬な姿勢や議員の反対により議会において否決されています。実際、今回の市民団体の直接請求においても、村井知事は『県民11万人の署名で請求された意義を重く受け止める』としながらも、提出された条例案については『2つの問題点がある』として注文をつけました。そして…この原稿を書いている今、県議会での条例採決が間近に迫っています。実現をめぐる揺れ動くこの県民投票、宮城県のみならず我が国の未来にも大きな意味を持つものであることに間違いありません。いずれの結果になろうとも、今後の行方に注目が集まります。

もうひとつ。今月11日で東日本大震災から8年を迎えました。報道などで『復興工事も一段落』などという見出しが目につく一方で、今も『フクシマ』は置き去りにされ、もがき続けています。福島第1原発では廃炉に向けての作業が行われていますが、次々と新たに困難な状況が発生し、当初の工程表通りにはうまく進んでいません。また、政府は帰還困難区域の一部に再び住めるような『復興拠点』を整備する方針を示していますが、これまでに避難指示が解除された地域においてさえ震災前のコミュニティが崩壊し、孤独の中でそれでも故郷での生活を選んだ人たちがひっそりと生活している状況もあり、現実味に乏しく映ります。『汚染水』『汚染土』の状況も深刻です。原発立地自治体のひとつ大熊町では、中間貯蔵施設の受け入れにより汚染土の埋設や除染廃棄物の処理に追われていますが、この作業はいつ終わるとも知れず、これから数10年にわたって延々と続けられなければならないということを忘れてはいけません。

こんな現実がありながら、我が国は『米軍のために大規模な自然破壊のもと新たな基地を整備』し、『人間がコントロールすることすら難しい原発を次々と再稼働』させようとしているのです。発せられた住民の声を無視していわば国策として進められるこれらの暴挙を、私たちは静観していて良いのでしょうか。奇しくも今年は『選挙YEAR』です。沖縄や福島の人たちの思いを繋いでいくためにも、私たち一人ひとりがしっかりと意思表示していく必要があります。

(管理者 山口 収)

節分イベント with イオン幸町店さん

毎年、節分が近づくとイオン幸町店から「今年も合同で節分イベント
どうかな？」とお話を頂きます。

イオン幸町店は、仙台つどいの家から300mのところにあります。
利用者が歩いていける距離なので何かと重宝している近隣のお店です。
毎月11日は『黄色いレシートキャンペーン』を開催しています。その
日にイオンで買い物をすると黄色いレシートが発行されます。そのレシ
ートを登録している団体のボックスに入れるとレシート総額の1パーセ
ント分を年度末に商品券として寄付してくれるイオングループの取り組みです。仙台つどいの家では、そ
の日に活動としてお店に行き、「イエローレシートを入れてください！」と直接お客さんに呼びかけていま
す。そんな関係性から、毎年お声がけいただいている合同イベントは今年で5回目になりました。新入社
員さんを中心に10名ほどが仙台つどいの家利用者とアート活動を行います。

今年は、仙台つどいの家とイオン幸町店の建物を自由に作ろうという企画で、段ボールで作った建物に
折り紙を貼ったり、好きなキャラクターの絵を貼ったりと楽しく活動しました。節分の豆まきをして、最
後に記念撮影をして合同イベントは終了しました。その後、利用者のアート作品などを地域の方々に見て
もらう機会を作りたいと考えていた私たちは、図々しくもイオン幸町店の連絡通路を使って展示会をした
いというご相談をしたところ、二つ返事で了承をいただき『表現展』を開催することもできました。

これからも地域の良き繋がりを大切にして活動していきたいと思えます。イオン幸町店の皆さん、いつ
もありがとうございます。（記：佐々木）



表現展を開催しました！

3月9日～12日の4日間、イオン幸町店2階の連絡通路で利用者の方々が作った作品を展示する『表
現展』を開催しました。一昨年に続いて2回目の今回は、けやきグループの齋藤司さん、工藤望さん、岩
佐美奈さん、くるみグループの菊池愛子さん、品田貴文さん、富田樹さん、阿
部明日さん、めいぷるグループの大村明日美さん、佐藤咲子さん、もみじグル
ープ合作、さんしょグループ合作の作品を展示しました。皆さん言葉にできな
い気持ちを感性のままに絵に表したり、趣味で作っている作品や日頃撮ってい
る写真を多くの人に見てもらいたいという気持ちで一生懸命作ったり、アルバ
ムにしていました。また、個人の作品だけでなくグループで一つの作品を作り
上げることでそれぞれの個性が混じり合うユーモラスな合同作品も展示しまし
た。今回は休日とイエローレシートキャンペーンを含む4日間だったため、よ
り多くの方に作品を見て頂くことが出来ました。作品の一角に感想を記入
していただくためのノートも用意し、「とても心が癒されました」「障がい
があっても各々のキャラクターを活かして明るく楽しく過ごしてほしいで
す」など素敵なコメントをたくさんいただきました。利用者の方々が思い
のままに表現した作品が多くの方の目に触れることで、地域とのつながり
や障がいへの理解、利用者自身の自信や活力に繋がっていくのだと改めて
実感することが出来ました。これからも様々な形で多くの人々に利用者の
想いを伝えてられるよう支援していきたいと思えます(^▽^)/ （記：今川）



（記：今川）

♥ バレンタインクッキングを行いました ♥

2月2日、パン工房めいぷるにてパングラタン&チョコマフィンの『小学生クッキング』を行いました。参加者は男の子4名、女の子1名の計5名です。中には毎年参加している男の子もいて、今回はお友達を連れて参加してくれました。

「パングラタン」は専用の機械を使って食パンをスライスするところから体験してもらい、その後スライスした食パンを包丁で4等分にしました。中には初めて包丁を持つ子もいたので職員が少しお手伝いしましたが、上手に切ることができていました。パングラタンを卵液に浸している間に「チョコマフィン」作りを行いました。材料を混ぜあわせる作業が主でしたが、量が多く混ぜづらそうにしている参加者に対して利用者が手本を見せつつ手伝っていた場面がありました。とても頼もしかったです。チョコマフィンが焼きあがると星やハート型のトッピング材料を使って思い思いにデコレーションしていました。

炒めた野菜やチーズをのせて焼き、パングラタンも無事完成！皆でホールに移動してわいわい楽しく食べました。最初は緊張気味だった参加者もすっかり打ち解け、楽しいひと時となりました。（記：佐藤絵）

（記：佐藤絵）



餅つき大会～！

1月25日に今年で二年目になる餅つき大会を行いました。今年は餅つき大会の他に甘酒のお振る舞いも行い、餅つきをしている横ではくるみグループの愛子さんが一生懸命に甘酒を作って、皆さんに振舞ってくれました。掛け声に合わせて餅をつき、完成した餅はお汁粉として昼食時に美味しくいただきました。

臼と杵を使った餅つきはあまり経験する場所が少なくなっているため、来年は地域の子どもたちと一緒に餅つきが楽しめればと思います。（記：志藤）





バスケット試合観戦

1月15日、ゼビオアリーナ仙台にて89ERSの試合観戦に品田さん、滝口さんと夜間外出に行ってきました。一緒に行く職員もバスケットの試合観戦は初体験で、行く前から一緒にワクワクしていました。夜間ということもあり冷え込みましたが、アリーナ内は凄い熱気に包まれていて、オープニングイベントからの盛り上がり一気にテンションが上がる利用者さんの姿がありました。試合はとてもスピーディーでバスケットが好きな品田さんは拳を高く上げて声援を送り、フリースローの時には手を合わせて神頼みをしていました。滝口さんも賑やかな雰囲気を感じて、身体を揺すりながら笑顔を見せていました。試合の流れは残念ながら相手チーム優位で、時間も遅くなり最後まで観戦はせず帰路へ着きましたが、熱が冷めやらぬ利用者さんの様子に、また行きたいですかと質問を投げかけると「はい」と答えてくれた品田さん。また、今シーズンも観に行きましょうと約束。そして、もっとこの魅力を皆に知ってもらいましょう！！



(記：鈴木)



奈津子さんの

たまに行くならこんなトコ

前号のとんがらし通信でもお伝えしましたが、さんしょグループの早川奈津子さんは食べるのが大好きで、外食レポートを3年間作成してきました。その中でも☆の数が多かった、奈津子さんおすすめの『たまに行くならこんなトコ』なお店をご紹介します。



まずは、青葉区高野原 3-7-6、野のカフェレストランの『kibako』です。『kibako』は、健康志向の食材を生かした自然食のお店で、奈津子さんはとうもろこしと全粒粉のパンが気に入ったようで、手を上げて美味しそうに食べていました。『チキンのバジルソースかけ』も、『うーん♪』と声を出しながら味わって食べていました。



『kibako』のパンは、バターを使わずにココナッツオイルを使っているのでも、アレルギーのあるお子さんも安心して食べられます。入口に段差がありますが、幅が広いので車椅子の方も楽々入ることができますよ。体に優しいカフェ、おすすめです☆

2つ目は、宮城野区新田 4-4-22にある、『となりのれすとらん』です。一軒家で、入り口には階段が4段あり、車椅子で入るのは少し大変かもしれません。

奈津子さんは、特製デミグラスソースのオムライスを注文!! サラダ、スープ、コーヒー、デザートロールケーキが付いて、980円は、とってもお得でした☆オムライスは卵がトロトロで真ん中からオムレツを切ると、ふわとろの卵がとろーり。デミグラスソースをからめて食べると、最高に美味しいです。奈津子さんも何度も手を上げて美味しそうに食べていました。デザートロールケーキも、ふわふわでとても美味しく、大満足できること間違いなし!! ぜひ皆さんも、奈津子さんおすすめのお店に行ってみてください♪



(記：佐藤唯)

Close-up! 今透さん編

「あら、どうも！」 やってまいりました、とん通の大人気コーナー Close-up! 今回も上下左右、東西南北、利用者さんのいろいろな角度にスポットを当てていきたいと思えます。そして、な、な、なんと今回ご紹介する利用者さんは、真打登場、けやきグループの重鎮、「ダンディー透」こと今透さんです!! パチパチパチパチ（拍手）。「ダンディー」という言葉がまさにぴったりの今さんは、ニコッと笑って手を振るだけで女性をメロメロにします。



おっと、ここで速報! 突然ですが「今さんの好きなものランキング」の発表です!! 早速ですが第三位、ドウルドウルドウル（ドラムロール）、ジャジャン!! 「雑誌」です! ソファに座って雑誌を読んでいるとき、今さんは「Go to heaven」、至福の時を過ごします。続きまして、第二位は、ドウルドウルドウル、ババン!! 「コーヒー」です! カフェ巡りが大好きな今さんは、コーヒーを飲むと、テンションが上がって、テーブルを叩いたり、声が大きくなったり、気分は最高潮! カフェ店員ともすっかり顔なじみで、「あら、またあったね!」と挨拶して笑顔で再会を喜びます。

そして、とうとう発表の時が来ました! 栄えある第一位は、ドウルドウルドウルドウルドウルドウル（多め）、ビョビョン!! 「女性」です! もしあなたが魅力的な女性で（年齢は関係ありません）、何かの用事で仙台つどいの家に遊びに来たら、きっと今さんは頭をナデナデするでしょう! ええ、間違いありません! きっと、ナデナデします。今さんに頭をナデナデされたい方は、ぜひ仙台つどいの家まで、遊びに来てください! 待ってまーす!!（記：高根）

研修報告 全国障害者生活支援研究セミナー「通称：サポート研」

皆さんは2月というとどんなイメージをもちますか? インフルエンザも全国的に流行するので、あまり良いイメージがないかもしれませんが、毎年行われるこの研修は湧き上がる「熱」を分けてもらえる感覚になります。今回のテーマは、これまでの実践を踏まえ、本人中心支援や意思決定支援を考えこれからの課題を共有するという目的で『本人中心支援の検証とこれから』と題して行われました。

基調講演に登壇された明石洋子さんからいただいた、公務員として働く長男徹之さんの生き方を通して、地域の中で本人の持つ意思を尊重しながら可能性を信じて生きていくことが、本人や家族だけではなく地域にとっても希望になるというお話がとても印象的でした。このほか実践報告などもあり盛りだくさんの2日間でした。

この研修に参加した職員達は、とても有意義な研修だったと事業所に戻って報告を行います。「これだけのことを学び熱をもらってきました!」と伝えきれない思いに時にもどかしさを感じます。そしてそのもどかしさは、時に世代間でも起こります。数十年前に荒波の中『本人』のために必死で作り上げてきた世代の方々から、それを利用していく世代へと引き継がれる中で、燃えるような熱い思いを繋いでいくのはとても大変なことです。溶ける程の熱はいつか燃え尽きてしまいますが、今は見守るような温かさを次の世代へと繋げていく時期だと思えます。誰かがやるということではなく、一人一人がその意識を持つ、一端を担うということが大切なのだと感じます。

残念ながらサポート研は、今回で一旦区切りを迎えます。新たな形へ変化したのちに、また参加できることを切に願っています。（記：佐々木）





職員コラム!

けやき職員 安藤美知子さん

私は音楽が好きです。けやきグループは音楽が好きの方が多く、音楽に囲まれた生活ができるととてもうれしく思っています。私は小さい頃からピアノの上手な姉の伴奏に合わせて歌をうたうという貴族のような遊びをして育ちました。高校時代は、合唱部に所属してコンクールでいろんな場所に行ったり海外へ演奏旅行をしたり、いい青春時代を過ごしました。今は、子育て中でなかなか歌う機会がなくカラオケ程度ですが…。今の楽しみは、小5の娘が所属している合唱団の歌を聴くことです。子どもの合唱は、とても純粋で癒やされます。入った当初、娘は本当に蚊の鳴くような声でした。それでもいつも先生は、「澄んだきれいな声だね。」と褒めてくれ、段々と自信を持つようになりました。大きな声で思い切り歌う子、声が太い子細い子、いろんな個性があってそれぞれ素敵。さらに個性が集まって結束するとすごい力を発揮するなあいつも感動です。大きくなったら娘と同じ合唱団と一緒にハモれる日がくるといいなあと母は密かに夢見ています。

ここでしっかり宣伝です。尚絅音楽教室少年少女合唱団、メンバーを大募集中です！メンバーは小学生から高校生まで。ものすごくアットホームな合唱団です。仙台東教会(東郵便局向かい)をお借りして月3回程度土曜日の午前中に練習しています。気になった方は、ぜひぜひブログをチェックして遊びに来てくださいね！(記：安藤)

～退職者のお知らせ～

3月は別れの季節。この度、木村しのぶさん、高橋巳智子さん、芳賀陽子さんが退職されます。寂しくなりますが、新天地でのご活躍を心よりお祈りしております！
いつでも、仙台つどいの家に遊びに来てくださいね♪



めいぷるグループ 木村しのぶさん

約半年間、本当にありがとうございました！大変お世話になりました。



厨房 調理員 高橋巳智子さん

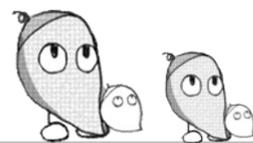
4年弱、給食に携わる中で、利用者さんから「明日も給食ヨロシクねえ～」の言葉にたくさんのパワーをもらいました。今まで、ありがとうございました。



めいぷるグループ 芳賀陽子さん

職員の皆様、利用者の皆様、保護者の皆様に成長させて頂いた6年間でした。本当にありがとうございました。これからもお元気でお過ごしください。時々、めいぷるに遊びに行きますね！





スケジュール schedule

- 4月**
- 1日(月) 辞令交付式(休館日)
 - 5日(金) ケース会議 13:30 降所
 - 11日(木) 音楽療法 イエローレシート
 - 13日(土) 後援会総会
 - 18日(木) 施設懇談会、音楽療法
 - 25日(木) ケース会議 13:30 降所
 - 29日(月) 昭和の日
 - 30日(火) 退位の日(開館日)



- 5月**
- 1日(水) 即位の日(開館日)
 - 2日(木) 国民の休日
 - 3日(金) 憲法記念日
 - 4日(土) みどりの日
 - 5日(日) こどもの日
 - 6日(月) 振替休日
 - 9日(木) 音楽療法
 - 14日(火) ふれあいセール
 - 17日(金) 施設懇談会
 - 22日(水) アートの日
 - 28日(火) ケース会議 13時30分降所
 - 30日(木) 音楽療法

ご協力ありがとうございます

ボランティアとして協力して頂いた皆様

(1月16日～3月10日まで)

シルビアさん、吉田さん、京子さん、工藤さん、菅澤さん

見学・来訪者など

生け花(濱谷さん)、成人を祝う会(金井さん、佐藤さん、松木さん、早坂さん、庄子さん、千葉さん、井上さん)ジョブアカデミー、音楽療法(向井田さん・菊池さん)、アロマゆるっと、イオン幸町店 9名(豆まきイベント)、日本テクノ(宍戸さん)、ダスキン、ホシザキ東北、今庄青果、マルキ水産、マルイ、ジェーシーアイ(瀬戸さん)、フジマック、サトー商会、鈴木米穀、ダスキン、仙台大気堂(田村さん、小野さん)、ホシザキ、サラヤ、ヤクルト、マルゼン、大塚商会(今岡氏)風の郷工房(中川さん)、わらしべ舎、UCC、淡路さん、島尻さん
 法人職員：加藤、檜山、半澤、福地、高杉、佐吉、飯田、岡崎、児玉、佐藤(亮)、山口、他

(以上、ご芳名順不同)

缶回収

1・2月の納品額

合計 1,858 円でした。

ご協力有難うございました。



編集後記

もうすぐ春ですね～。宮城県は桜の名所が多いですが、皆さんはどこに行きますか？

西公園や榴ヶ岡公園で屋台の食べ物を買いながら見る桜もいいですが、ドライブがてら少し遠くに足を伸ばして船岡城址の一目千本桜、石巻の日和山公園まで桜を見に行くのも楽しいですよ。皆さんのおすすめの情報、お待ちしております！！

(記：松原)